

# KIEF NEWS

No.73 2013.8



## ★ TOPIC 1 新規事業「留学生交流員による金沢の魅力発信事業」

金沢国際交流財団では、今年度初めて、市内の大学に在籍し、金沢市に在住する主に新規留学生を「留学生交流員」に任命し、年間を通じて金沢の歴史・文化・生活を体験し、理解してもらう様々な機会を提供することで、金沢と出身国の交流の担い手として、金沢の魅力を発信する「留学生交流員による金沢の魅力発信事業」を実施しています。

当初予想していた定員 20 名をはるかに超えた 59 名の応募があり、5 月 18 日(土)には、留学生交流員の任命式および顔合わせ交流会が行われました。金沢の歴史や文化に興味を持つだけでなく、「自分が住んでいる金沢のまちのことをもっと知りたい」、「金沢の人たちと交流したい」という思いを皆さん一様に語っていました。

6 月 8 日(土)には、「第 1 回金沢の歴史・文化体験めぐり」を開催し、金沢の伝統文化の一つである「茶道」と、日本一の生産を誇る金箔の「箔貼り」体験を行いました。

当日の様子は、参加した留学生交流員の方から、印象に残った写真と感想をいただいたので一部ご紹介します。



顔合わせ交流会にて自己紹介しあう留学生交流員のみなさん



お茶を飲むことから一緒にする空間と時間に心を込めて縁を大切に考える日本人の精神を感じることができました。特に「和敬静寂」は主人と客の関係をよく整理して示す文句だと思います。お互いに尊敬する時間を通じて心と体を清潔にしてじっくり共感すること。日本人の思いやりを直接体験することができて有益な時間でした。

ばく ゆうりん  
金沢大学留学生 朴 侑林(韓国出身)



一番印象残ったことと言えば、やはり金箔を使って、絵ハガキを作ることです。金箔を絵の上において、もう一枚の紙を覆って、やさしく拭いて、開けたら、こんなに美しい絵ができると思わなかったです。びっくりしました。あの一瞬の感動が心に残っています。

ちんみょう  
北陸大学留学生 陳 苗(中国出身)



ずっと前から日本の茶道に興味があったので、今回自分でお茶を立ててみて、非常に感動しました。茶道の先生の言われた通り、お湯を茶碗に注ぎ、茶筌でお茶を立てると、世界的に有名な茶道の意味が次第にわかるようになりました。

り げつ  
北陸大学留学生 李 月(中国出身)

金沢の文化を見聞きたり、文献で目にすることはあっても、実際に体験する経験はこれまでなかったようで、体験を通して伝統文化に理解を深めることができたという意見が多数寄せられました。このように金沢の歴史や文化を体験してもらいながら、留学生交流員の視点からの新たな金沢の魅力発信に努めていきたいと思えます。これから、金沢の家庭生活を体験するホームビジットや、国際交流まつりでの文化紹介など、市民のみなさんと交流する機会もたくさん提供していきたいと思えます。彼らの1年間の活躍をどうぞお楽しみに！

## ★ TOPIC 2 日本人親子と外国人親子の交流の場を地域に

### ～杜の里児童館共催事業「せかいのおともだちをつくろう」～

「ただいまから、『せかいのおともだちをつくろう』を始めます！」という西中さんの挨拶とともに、たくさん子どもたちの歓声が児童館にあふれました。2013年3月9日(土)杜の里児童館にて開催したこのイベントには、外国人親子を含めた46名の参加者が集まり、児童館のスタッフから教えてもらうゲームや、外国人ママによる出身国の紹介、いろんな国のおやつを試食、たこやきづくりなどを通して、交流を深めました。



### ～外国人が多く暮らしている地域～

近年杜の里児童館の周辺には外国人親子の姿がよく見られます。この地域は周辺に大学が多いため、留学生が多く暮らしており、その中には家族を伴って来日する人も多いためです。

(公財)金沢国際交流財団では2010年から外国人市民が多く暮らす田上、杜の里地域で、「日本語交流ひろば」という外国人市民と日本人市民が日本語で交流する場づくりを、市民の方々とともに進めています。普段「日本語交流ひろば」に参加するのは単身の留学生が多いですが、日本語を話せない外国人親子が参加することもあり、その方々は歩いて行ける範囲の情報を必要としていました。そして杜の里地域周辺に暮らす外国人の方々とは共通して、地域に暮らす人たちと出会う機会がない現状があることがわかってきました。

### ～地域の人たちと一緒に作る交流の場～

今回の事業は杜の里児童館の西中さん、杜の里地域の住民でもあり、「日本語交流ひろば」にも関わっている大出さんを中心に、外国人親子が日本人親子と交流しやすい内容を心がけ、準備を進めました。いろんな国のおやつを作る協力は、これまで児童館に来たことのある先輩外国人ママにお願いしました。また文化紹介は、来日もないインドネシア出身のエヴィさんが担当しました。プレゼンテーションに使う表現を、自身が通う日本語教室で練習し、たくさんの写真とインドネシアの衣装や楽器とともに紹介しました。



当日は中国、ベトナム、ロシア、バングラデシュ、ロシアなどの出身の外国人親子が参加し、交流は日本語、時には英語で行われながら、地域の中の出会いの場を参加者は楽しんだ様子でした。そして杜の里児童館を始めとした地域の情報も紹介されました。

## 企画に関わった方々からの感想の紹介

### 杜の里児童館 西中さんから

周辺に外国人親子をよく見かけるので、児童館を知ってもらい、日本人親子と交流する機会は必要だと常々思っていました。国籍や言葉など関係なく子どもたち同士が仲良く遊ぶ姿を見て、KIEFと連携し、実現できてよかったですと思います。今後も続けたいですね。

### エヴィ・レイさんから

毎日、日本の文化や習慣を学んでいます。この日は「自分の国の文化」を伝えることができ、お互いに理解を深めることができたことが本当にうれしかったです。このイベントで出会った人と、近くのスーパーで会って、話したりします。次回も参加したいです。

## 「多文化共生の地域づくりに向けて」

参加した外国人ママは、「いろんな人と会うことができたので楽しかった。いつも1人でアパートにいと、周りにどんな人がいるかもわからない。また参加したい。」と感想を寄せてくれました。「留学生」という特性上、杜の里地域に暮らす外国人市民は、絶えず入れ替わります。そのため外国人市民と日本人市民が出会い、交流する場は必要とされています。(公財)金沢国際交流財団では、多文化共生の地域づくりに向けた地域との連携事業を今年度も継続して実施していく予定です。





## ★ TOPIC 3 金沢市国際交流員からのメッセージ

アメリカ国際交流員のロバートさん、ベルギー国際交流員マリスさん、8月で国際交流員としての任期を終え、金沢を離れることとなりました。

### ～アメリカ国際交流員ロバートさんより～



3年前、大学を卒業し、初々しい気持ちで金沢に到着しました。それから金沢での経験は、私の人生で一番いい経験となりました。

国際交流員として、たくさんの素晴らしい人と出会い、多くを学ぶことができました。金沢を案内することで、金沢に生きる文化を知り、また翻訳作業では、金箔や能楽にといった金沢の伝統工芸について深く学ぶことができました。

小・中学校への派遣では、出身国であるアメリカの文化について紹介しました。ひとまとめにアメリカといっても、地域差があるので、自分が生まれ育った街や経験したことを例に、アメリカに関するリアルな情報をわかりやすく伝えようと思掛けました。そういった過程の中で、自分自身にとっても新たな発見がありました。また、KIEFで行った英会話講座やアメリカ文化紹介講座を通じて、楽しく有意義に金沢市のみなさんと触れ合うことができました。

3年たった今でも、金沢に来たばかりのような新鮮な気持ちはありますが、残念ながら国際交流員の任期を終えることとなりました。金沢を離れるのは寂しくなりますが、次の仕事では金沢での素晴らしい経験を活かしていきたいと思います。このような機会を与えてくださった金沢市、そして市民の皆様に、心からお礼を申し上げます。



ロバートさんの英会話講座

### ～ベルギー国際交流員マリスさんより～



2011年8月、金沢に着いた日から、2年間があつという間に過ぎていました…。とても素晴らしい2年間でした！ 大学を卒業し、初めて経験したこの仕事は人生で最も忘れられない仕事であるという間違いありません。多くの出来事が目まぐるしく通り過ぎていきました。翻訳や姉妹都市関係の仕事、イベントの企画、学校訪問、文化紹介、金沢と外国でのアテンドや通訳まで…多くを経験しました。というよりは、その全てを経験するチャンスに恵まれました。もちろん、仕事の中には自然と身に付くこともあり、なかなか容易でないこともありました。しかし、どのようなことであっても、いつも一生懸命努力しました。

KIEFのイベントでは、様々なベルギー文化（特に自分が誇りと熱意を持っている面）を皆さんに紹介しました。クリスマス・リースやバレンタインチョコ作り、公用語の1つであるオランダ語の紹介とイースターパーティー、そして最後にダンス・ワークショップも行いました！ これらのイベントを通じて、ベルギーを少しでも皆さんに感じてもらえたら嬉しいです。私にとって、色んなイベントを企画し、多くの皆さんと交流できたことはとても楽しかったです！

もうすぐ帰国の日が訪れます。おみやげをスーツケースに詰め、たくさんの思い出とともに、ベルギーへ帰ります。金沢で過ごしたアドベンチャーや出会いなど、家族や友達に話したいことがたくさんあります。そしてまた、金沢に遊びに来たいと思います。皆さんの中には、ベルギーへ遊びに来てくれる方もいるかもしれません！（私の【ベルギークイズ】に参加された方は、もうガイドは必要ないかもしれませんね！）

最後に、皆さんの友情と思いやり、応援と指導に心から感謝したいと思います。2年間大変お世話になり、ありがとうございました。金沢では多くの素晴らしい経験ができ、皆さんのおかげで金沢は私の第二の故郷となりました。その故郷を離れることは寂しく思いますが、永久にさよならではありません。そのため次の言葉で終わります：“Tot ziens! (トット ズィーンズ!)” 「また会う日まで！」

愛をこめて、マリスより



マリスさんのダンス・ワークショップ



派遣先の小学校で文化紹介

## ★ TOPIC 4 KIEFインフォメーション

公益財団法人金沢国際交流財団が、平成25年4月～7月に実施した事業を紹介します。

## 事業報告

## 「Life in Kanazawa ～21世紀の隣人たちが語るわたしのまち・金沢～」開催

3月25日(月)～5月26日(日)にリファーレ2階の本町交流スクエアにて、「Life in Kanazawa ～21世紀の隣人たちが語るわたしのまち・金沢～」を開催しました。2005年の写真パネル展の登壇者に再登場いただき、7年が経過した現在、金沢に暮らして感じる課題やまちへの思いをメッセージと写真で展示しました。



## 「平成25年度ボランティア説明会」開催

4月13日(土)にリファーレ4階大研修室にて、「平成25年度KIEFボランティア説明会」を行いました。説明会には、38名の方々が参加されました。今年は学生の方々や外国人市民の方々にも多く参加いただき、活気ある説明会となりました。

## 新規留学生生活ガイダンス実施

4月に来日した金沢大学、北陸大学、星稜大学に在籍する新規留学生に向けて「新規留学生生活ガイダンス」を行い、財団の事業紹介や、防災、ゴミ、医療保険を市の担当課とともに説明を行いました。

## 平成25年度第1回国際交流関係団体連絡会を開催

5月16日(木)に金沢市女性センターにて、「平成25年度第1回国際交流関係団体連絡会」を開催し、38団体が参加されました。新規登録団体の紹介や、団体同士の情報交換、当財団の国際交流団体活動支援情報、国際交流まつりの説明等を行いました。連絡会に登録している国際交流関係団体の一覧表は、当財団ホームページ内『団体情報』にて紹介しています。

## 「金沢大学との留学生支援に関する検討会議」を実施

6月11日(火)に金沢大学関係者、国際交流関係団体数団体を交えた「金沢大学との留学生支援に関する検討会議」を実施しました。留学生が抱える課題、支援に向けた意見交換を行いました。

## 国際交流まつり2013は

## 石川県政記念しいのき迎賓館広坂緑地・石の広場で開催します！

日時：2013年10月19日(土)・20日(日) 10:00～16:00

場所：石川県政記念しいのき迎賓館広坂緑地・石の広場

内容：金沢にいながらにして、世界を五感で感じることができる毎年恒例の秋のイベントです！

約40のブースが並び、世界各国・地域の料理やデザートが楽しめるほか、ダンスや演奏が楽しめるステージ、世界の多様な文化を大人も子どもも楽しめる各種体験プログラムなどもあり、1日中楽しむことができます。ぜひご来場ください。



発行・問い合わせ先



KANAZAWA  
INTERNATIONAL  
EXCHANGE  
FOUNDATION

## (公財)金沢国際交流財団

〒920-0853 金沢市本町1-5-3 リファーレ2F

Phone (076) 220-2522

F A X (076) 220-2527

URL : <http://www2.kief.jp>E-mail : [kief@kief.jp](mailto:kief@kief.jp)